

ベトナム成長株インカムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

商品概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
投資対象	「ベトナム成長株インカムマザーファンド」への投資を通じて、ベトナムの取引所に上場する株式ならびに世界各国、地域の取引所に上場するベトナム関連企業の株式を主要投資対象とします。
設定日	2014年8月20日
信託期間	2014年8月20日(設定日)から無期限
決算日	原則として年4回。2月20日、5月20日、8月20日および11月20日(休業日の場合は翌営業日)とします。

ファンドの状況

基準価額	
基準日	2018年3月30日
基準価額	15,377 円
前月比	+662 円
純資産総額	195.5 億円
前月比	+25.2 億円

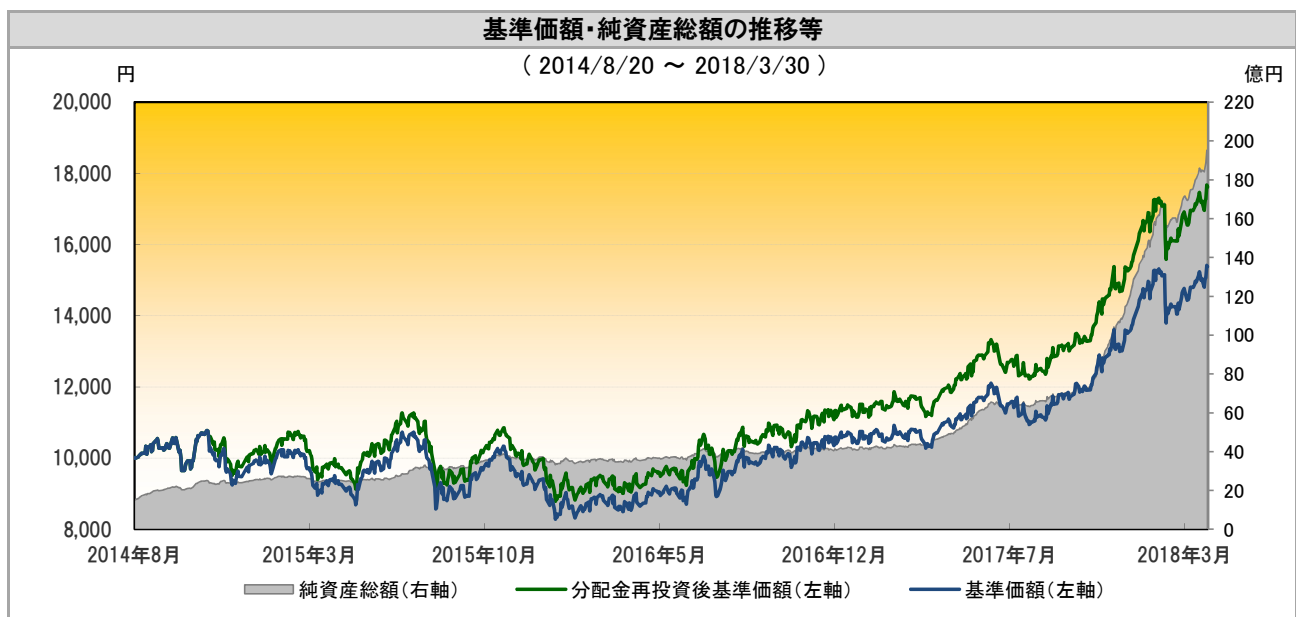
期間収益	
1 カ月	4.5%
3 カ月	12.3%
6 カ月	34.2%
1 年	50.0%
設定来	76.2%

※ ファンドの期間収益は、収益分配金(税引前)を再投資したと仮定して計算した理論上のものである点にご留意下さい。

分配実績(1万口当たり、税引き前)		
第1期～第9期		700 円
第10期	2017年2月20日	150 円
第11期	2017年5月22日	150 円
第12期	2017年8月21日	150 円
第13期	2017年11月20日	150 円
第14期	2018年2月20日	200 円
合計		1,500 円

資産構成	
ベトナム成長株インカムマザーファンド	99.3%
現金・その他	0.7%
合計	100.0%

※表示単位未滿を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。

ベトナム成長株インカムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

投資先：ベトナム成長株インカムマザーファンドの状況

マザーファンドの資産組入状況

株式	97.2%
現金・その他	2.8%
合計	100.0%

組入銘柄数

48

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

マザーファンド 業種構成比

業種	組入比率
銀行	24.6%
食品・飲料・タバコ	17.9%
不動産	14.2%
運輸	8.1%
公益事業	7.5%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.2%
素材	4.1%
資本財	3.3%
その他	15.1%
合計	100.0%

組入銘柄 上位10銘柄

銘柄名	業種	組入比率
ビナミルク(ベトナム乳業)	食品・飲料・タバコ	10.2%
ビンググループ	不動産	9.0%
ベトナム外商銀行(ベトコムバンク)	銀行	7.4%
ペトロベトナム・ガス	公益事業	7.0%
HDバンク	銀行	5.2%
FPT	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.1%
ベトジェット航空	運輸	5.1%
マッサングループ	食品・飲料・タバコ	4.7%
ホアファットグループ	素材	3.7%
ベトナム産業貿易商業銀行	銀行	3.6%

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(ご参考) 株式指数・為替の推移

ベトナム VN 指数

(2014/8/20 ~ 2018/3/30)



出所：ブルームバーグのデータをもとに当社が加工して作成。

ベトナムドンの対円レートの推移

(2014/8/20 ~ 2018/3/30)



出所：投資信託協会

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。

ベトナム成長株インカムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset
Management

マンスリーコメント

■ベトナム株式市場

3月のベトナム株式市場は、好調な経済成長や大手企業の新規上場、外国人投資家による買い越し、さらに、定時株主総会シーズンに発表された2018年事業計画などに関する情報も支援材料になり、月末終値で史上最高値を更新しました。一時、米中貿易紛争深刻化への懸念から下落した場面もありましたが、投資家による根強い買いに支えられ不動産や食品など大型優良株中心に、堅調な相場展開になり、3月末時点のVN指数は前月末比4.72%高の1,174.46ポイントで引けています。一方で、ベトナム株式市場の流動性も著しく改善しており、売買代金が4億米ドルを超える営業日が頻繁にあり、株式市場全体が拡大しています。経済指標面では、1-3月期の国内総生産(GDP)成長率(推定値)は前年同期比+7.38%で、直近10年間で1-3月期として最高値を記録しました。個別銘柄では、マッサングループ(前月末比27.24%高)や不動産大手のビンググループ(前月末比23.5%高)、ペトロベトナム・ガス(前月末比15.36%高)などの大型銘柄中心に上昇しました。

■運用状況

株式組入比率は、高位に維持し、成長性や流動性が継続して見込める銘柄を中心に組み入れています。今月は、長期的に安定した収益の成長が見込めるビナムルク(ベトナム乳業)とIT大手FPTを増やしました。特に、IT大手FPTについては、4月に予定されているFPTの小売り子会社のFPTリテールの上場から恩恵を受けると見えています。尚、FPTリテールの2017年業績は、売上が前年比+21%増、税引後利益が同+40%増で増収増益を達成しており、市場ではホットな銘柄になると見ているようです。

■今後の見通し、運用方針

ベトナム株式市場は、外国人持ち株比率の制限が緩和される中、上場企業数の増加や政府の保有割合の低下が海外からの資金流入を促すと見られており、中長期的に堅調な相場展開を予想しています。その理由の一つとして今後IPOや上場ラッシュが予定されており、完売もしくはオーバーサブスクライブが予想されています。有望なIPOや上場としては、テクコムバンクやIT系メディア関連のYeah One、FPTリテール、ビンホームなどが挙げられます。現地大手証券会社の著名アナリストは、今年の1株当たり利益の伸び率は25%程度と高い伸び率を見込んでおり、外国人投資制限比率の緩和とIPOの相乗効果で今年は堅調な相場展開を予想しているようです。加えて、中長期的な注目点としては、MSCI指数での「新興国市場」への格上げ期待があげられます。現在、ベトナムは、MSCI指数においてフロンティア市場に分類されています。市場規模の拡大に加え、外国人持ち株比率の制限緩和などにより外国人投資家のアクセスが改善されれば将来新興国市場への格上げが期待できます。MSCI社はベトナムの格上げについては、外国人保有率上限の引き上げの進捗状況や英文のディスクロージャーの充実、浮動株比率の増加などの改善を同社は注視しているようです。従って、中長期的な観点からこれらの材料を背景に堅調な相場展開を予想しています。リスク要因としては、トランプ米国政権による保護主義政策などが挙げられます。今後の運用方針としては、銀行や保険、不動産セクターに注目しています。消費者向け金融市場の拡大とバンカシュアランス(銀行による保険の窓販)による収入が増加傾向となり業績が上向くと見込まれることから銀行や保険セクターの投資比率を高め維持する予定です。また、2018年の不動産関連の海外直接投資(FDI)が過去最高を記録する模様です。従って、今後不動産セクターが良くなる見えており、不動産セクターに継続投資する予定です。

ベトナム成長株インカムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

ファンドの運用について

- ベトナム株式及びベトナム関連企業の株式の中から成長が期待できる銘柄や配当が魅力的な銘柄に選別投資し、分散されたポートフォリオを構築することを目指します。
- トップダウン分析とボトムアップ分析を組み合わせたアプローチを用います。
 - トップダウン分析では、マクロ経済動向および政治情勢等の見通しについて検討し、投資判断に活かします。
 - ボトムアップ分析では利益成長率、配当利回りなどの分析やその他情報等を参考にして各銘柄への配分を決定します。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記の様な運用が行えない場合があります。

投資リスク

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、実質的にはベトナムの取引所に上場している株式、ならびに世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式など値動きのある有価証券に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。**したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被ることがあります。当ファンドに生じた利益および損失は、すべて投資家の皆様に帰属することになります。投資信託は預貯金と異なります。**

当ファンドの基準価額は、主に以下のリスク要因により、変動することが想定されます。

株式の価格変動リスク	当ファンドは、主に海外の株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
為替変動リスク	当ファンドは、主に外貨建ての株式に投資します(ただし、これに限定されるものではありません)。投資している通貨が円に対して強く(円安に)なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
カントリーリスク	当ファンドが投資するベトナムの経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策や税制の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。
信用リスク	株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク	解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。
資金移動に係るリスク	当ファンドの主要投資対象国であるベトナム政府当局が資金移動の規制政策等を導入した場合、一部解約、償還等の支払資金の国内への回金が滞ることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ベトナム成長株インカムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

お客様にご負担いただく費用

①お申込時に直接ご負担いただく費用

■購入時手数料: 申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.24% (税抜3.0%)**を上限として、販売会社がそれぞれ定める手数料率を乗じて得た額とします。

②ご解約時に直接ご負担いただく費用

■信託財産留保額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して**0.3%**

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

■信託報酬: 信託財産の純資産総額に対して年率**1.8468% (税抜1.71%)**

■その他費用: 有価証券等の取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等)、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※上記の費用(手数料等)の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することができません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

委託会社その他関係法人の概要

■委託会社: 信託財産の運用業務等を行います。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第383号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

■受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三菱UFJ信託銀行株式会社

■販売会社(五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	協同一般社団法人 日本投資顧問業	協会一般社団法人 先物取引業	取引一般社団法人 第二種金融商品
エース証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第44号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第44号	○		○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商) 第3号	○			
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第62号	○			○
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商) 第43号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第170号	○			
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長(金商) 第1号	○			
光証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商) 第30号	○	○		
益茂証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商) 第12号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第164号	○		○	

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。

記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。

ベトナム成長株インカムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

■販売会社

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	協日本一般社団法人 投資顧問業	協金融先物取引 協会	第一種金融商品 取引業協会	第一種金融商品 取引業協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第165号	○	○	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第105号	○				○
明和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第185号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第195号	○	○	○		○
リーディング証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第78号	○				

【留意事項】

- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは示唆するものではありません。
- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。